

東京都の訓練実施結果概要

都 県 市 名 東京都

| | |
|-----------|---|
| 訓練の 目的 | 震災時における都、市、各防災機関との連携の強化及び自助・共助に基づく地域防災力の向上を図るため、実践的な訓練を実施する。 |
| 日 時 | 平成25年11月23日（土）午前9時から正午まで |
| 会 場 | 都立秋留台公園及び周辺地域、都立水元公園 など |
| 規 模 | 参加機関（団体） 約 100 機関、 参加人員 約10,000名 |
| 想定地震 | 震 源：多摩直下 地震の規模：M7.3 震源の深さ：約20km～30km 時 刻：冬の夕方18時（本訓練では冬の午前7時と読み替える。） 風 速：8m |
| 訓練項目 | <p>①多摩地域の被害特性に対応した訓練</p> <ul style="list-style-type: none">○あきる野市市民運動広場ほか 地震による土砂災害を想定し、警察・消防・自衛隊等の防災機関、アジア大都市ネットワーク 21 都市（ソウル、台北）の消防隊が連携した、被害状況等を事前に知らせないブラインド型の救出救助訓練、地域の住民による消火・救助・応急手当の体験 など○都立秋留台公園 ライフライン等の防災機関によるブース展示、特殊車両や警視庁騎馬隊等の展示、キッズコーナー、スタンプラリー など○小宮ふるさと自然体験学校 土砂災害により孤立した集落を想定した救助及び物資支援 <p>②区部の救出救助活動拠点等の設置運営訓練</p> <ul style="list-style-type: none">○都立水元公園 都職員による拠点確保など |

| | |
|--------------|--|
| <p>訓練の特徴</p> | <p>1 土砂災害の発生など、多摩地域の被害特性に対応した訓練 ○土砂災害を想定した救出救助訓練 ○孤立集落を想定したヘリコプターによる支援訓練</p> <p>2 区部の救出救助活動拠点の設置運営訓練</p> |
| <p>参加機関</p> | <p>【国の機関】 陸上自衛隊、航空自衛隊、自衛隊東京地方協力本部、海上保安庁、気象庁東京管区气象台</p> <p>【九都県市広域応援協定自治体】 埼玉県、千葉県、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市</p> <p>【指定公共機関】 日本郵便（株）東京支社、東日本電信電話（株）、（株）NTTドコモ、日本赤十字社東京都支部、KDDI（株）、東京ガス（株）、東京電力（株）、ソフトバンクモバイル（株）</p> <p>【指定地方公共機関】 （一社）東京都トラック協会、（公社）東京都医師会、（社）東京都歯科医師会、（公社）東京都薬剤師会、（公財）献血供給事業団、（公社）東京都獣医師会</p> <p>【参加関係機関・自治体等】 東京都各局、警視庁、東京消防庁、葛飾区、荒川区、立川市、昭島市、青梅市、福生市、武蔵村山市、羽村市、瑞穂町、広域緊急援助隊（広島県警察）、緊急消防援助隊（横浜市消防局）、ソウル特別市、台北市、新北市、在日米陸軍、在日米海軍、在日米空軍、東京都生活協同組合連合会、石油連盟、東京都石油業協同組合、（一社）プレハブ建築協会、（一社）全国清涼飲料工業会、東京都葛飾福祉工場、（一社）日本アマチュア無線連盟、日本自動車連盟、（公財）東京都公園協会、（一社）東京都地質調査業協会、緊急地震速報利用者協議会、日本救助犬協会、（一社）ジャパンケネルクラブ、全国災害救助犬協会、Twitter Japan（株）、東京防災隣組、武陽ガス（株）、都立高校 等</p> <p>【合同実施自治体関係機関等】 あきる野市、あきる野市消防団、防災リーダー、市内中学校、消防少年団、災害時支援ボランティア、市民防災組織、地域住民 等</p> |